

10月の住宅着工戸数、4カ月連続減少

国土交通省が30日発表した10月の新設住宅着工戸数は前年同月比4.8%減の8万3057戸となり、4カ月連続で減少した。貸家は同4.8%減の3万8017戸と5カ月連続で減った。

貸家は5月まで相続税の節税対策と低金利を背景に19カ月連続で伸びていた。しかし供給過多で地方では借り手が見つからず空室が増えている。地銀による「アパートローン」が増えていることを金融庁と日銀が問題視しており、茨城県、山梨県、鳥取県、高知県の減少率はそれぞれ4割を超えた。



	総数		持家		貸家		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
全国	83,057	-4.8	24,807	-4.8	38,017	-4.8	19,588	-4.8	7,489	-16.9	11,861	5.0
大阪	6,328	3.3	920	-22.6	3,464	23.9	1,910	-10.4	1,067	-7.4	841	-13.7
兵庫	2,771	-1.4	839	-4.1	1,152	11.6	765	-14.4	300	-25.9	465	-3.5
岡山	1,094	12.7	517	21.9	491	15.0	83	-30.8	0	-100.0	83	29.7
広島	1,963	35.0	474	-5.6	980	33.2	497	131.2	240	1,042.9	257	41.2

情報提供: 日本経済新聞

ヤマダ電機、リフォーム営業増員へ



養成急ピッチ、1000人体制へ

増員するスタッフは2種類。1つは、店舗のフロアスタッフから上がったリフォームの引き合いを引き継いで、具体的な提案を行うスタッフ。現在の400人から1000人規模にまで増員する。

もう1つは店舗に常駐するインテリアコーディネーター。こちらは、約300人まで増やす計画。ともに新規で採用するのではなく、既存スタッフを配置換えすることで数を確保する。

背景にあるのは、大規模なインテリア・リフォームコーナーを備えた新形態の店舗の拡大だ。9月に神奈川県横浜市にオープンした店舗

では、はじめの3日間で従来の1カ月分に相当するリフォーム受注があったという。同様の店舗を3年後には100店にまで増やす計画。「リフォームは家電と異なり、潜在的なニーズを引き出す必要があります。そのためには、専門的なスキルが不可欠。人材教育を進めることで、価格と店舗の広さという従来の武器に『人材』を加えた3つで攻勢に出る。

情報提供: リフォーム産業新聞

YKK AP、設計施工者をサポートするウェブサービス「断熱・気密ナビ」をオープン

YKK APは11月28日、断熱設計や施工手法が学べるウェブサービス「断熱・気密ナビ」を開発した。制作には、建築雑誌「ディテール」(彰国社)がパートナーとして加わった。

構成は、「設計」「施工」「知識」の3つテーマからなり、各部位の納まりや施工手順などを図面やイラストでわかりやすく解説している。PDF形式で出力することも可能。ビジュアルが中心なので、限られた時間の中でもポイントを押さえながら効率よく学ぶことができる。

設計知識や施工技術が高度化する中、また、新商品や省エネ基準改正への対応など、設計・施工者は常に知識やスキルをアップデートすることが要求される。同社では、断熱・気密ナビによる設計・施工者へのサポートを通じて省エネで快適な住宅づくりを一層普及させたい考え。



情報提供: 新建ハウジング